Antenna House PDF Driver API V8.0　コマンドライン説明書

目次

Antenna House PDF Driver API V8.0　コマンドライン説明書 1
１．　概要 3
２．　動作環境 3
３．　PDF 出力対応している文書ファイル形式 4
４．　コマンドラインの使い方 5
４．１．PDF Driver V8.0 のインストールとアンインストール 5
４．１．１．　インストール 5
４．１．２．　アンインストール 6
４．２．実行に必要なファイル 6
４．３．オプションの種類 6
４．４．コマンドの使用例 9
４．５．終了コード 10
４．６．変換エラーコード一覧 11
４．６．１．　パスワード付きファイルに対するエラーコードについて 16
５．　ライセンスファイルについて 17
５．１．ライセンスファイル名 17
５．２．ライセンスファイルの場所 17
５．３．正規利用方法 17
５．４．保守期限と PDF Driver API の動作について 17
５．５．ライセンスファイルの入れ替えについて 17
５．６．ライセンスファイルの削除 17
６．　制限事項 18
６．１．PDF Driver API のサーバーサイド使用における制限事項 18
６．２．PDF Driver API のそのほかの制限事項 19
６．３．PDF Driver の制限事項 21
６．４．Office アドイン機能の制限事項 23
履歴 25

１．概要

Antenna House PDF Driver API V8.0（PDF Driver API V8.0）のコマンドラインは、PDF Driver API V8.0 C++インターフェイスを使用して作成されたコンソール型アプリケーションです。
コマンドとオプションを指定して実行することにより、Antenna House PDF Driver V8.0（PDF Driver V8.0）を利用して文書ファイルを PDF に出力します。

２．動作環境

オペレーティングシステム(OS) ※1	Microsoft® Windows 11/10　各日本語版 Microsoft® Windows Server 2025/2022 各日本語版
必須ライブラリ	Microsoft Visual C++ 2015-2022 ライブラリのランタイムコンポーネント ※2
アプリケーション※3 ※4	Microsoft Office　2024/2021/2019/2016 の Word/Excel/PowerPoint　各日本語版 Microsoft 365 Word / Excel / PowerPoint 日本語版 ジャストシステム　一太郎 Pro 5 / Pro 4

※1　ただし、後述の「アプリケーション」に示されるソフトウェアの動作環境に準じます。
※2　Visual C++ 2015-2022 ライブラリのランタイムコンポーネントは、PDF Driver API 32bit 版を使用する場合は x86 用、64bit 版を使用する場合は x64 用のコンポーネントが必要です。
※3　動作保証される OS については、各アプリケーションの仕様をご確認ください。
※4　Microsoft Office においては、インストールオプション「Visual Basic for Applications」がインストールされている必要があります。

３．PDF 出力対応している文書ファイル形式

コマンドラインで PDF 出力が可能な文書ファイル形式は以下の通りです。

- Microsoft Word（doc / docx）
- Microsoft Excel（xls / xlsx）
- Microsoft PowerPoint（ppt / pptx）
- ジャストシステム一太郎（jtd）
- テキスト形式

上記の文書ファイルを PDF 出力するために、動作環境には以下のソフトウェアのインストールが必要です。

- Microsoft Word
- Microsoft Excel
- Microsoft PowerPoint
- ジャストシステム　一太郎

※　テキスト形式ファイル処理時は、Word のオートメーションを利用します。
※　PDF 出力に対応している文字コードは以下です。

UTF-8
UTF-16
ISO-10646-UCS-2
ISO-10646-UCS-4
ISO-2022-JP
EUC-JP
EUC-JP-FIX
WINDOWS31J
Shift-JIS
GBK
Big5
KS_C_5601-1987
ISO-6461RV
ISO-8859-1

４．コマンドラインの使い方

４．１．　PDF Driver V8.0 のインストールとアンインストール

コマンドラインを利用するには､実行環境に PDF Driver V8.0 をインストールする必要があります。
次に、PDF Driver V8.0 のインストールとアンインストールの方法を説明します。

４．１．１．　インストール

４．１．１.1.インストールを実行する前の注意事項

・　インストールは、管理者権限を持つユーザーがログインしている環境で行ってください。
・　インストールを行う環境において、すべての印刷が終了していることを確認してください。
・　インストールを行う環境において、すべてのアプリケーションが終了していることを確認してください。

４．１．１.2.インストール方法

1)　PDFDriver_setup フォルダにある AHPDFDriver80_setup.exe をダブルクリックするなどして起動します。

2)　ダイアログが表示されますので、指示にしたがってインストールを実行します。

3)　インストールの途中に､Microsoft Visual C++ 2015-2022 再頒布パッケージのインストーラが起動する場合があります。起動した場合は、指示にしたがって必ず再頒布パッケージをセットアップしてください。

4)　インストールが完了すると､「コントロールパネル」の「デバイスとプリンター」に「Antenna House PDF Driver 8.0」のプリンターアイコンが表示されます。

5)　デフォルトのインストール先フォルダパスは下記です。
{システムドライブ}:¥Program Files¥Antenna House¥PDF Driver 8.0

※　インストール終了後、システムの再起動が促される場合があります。

４.１.２.　　アンインストール

４.１.２.1.アンインストールを実行する前の注意事項

・　アンインストールは、管理者権限を持つユーザーがログインしている環境で行ってください。
・　アンインストールを行う環境において、すべての印刷が終了していることを確認してください。
・　アンインストールを行う環境において、すべてのアプリケーションが終了していることを確認してください。

４.１.２.2.アンインストール方法

1)　コントロールパネルの「プログラム」 - 「プログラムと機能」を開きます。

2)　インストールされているプログラム一覧が表示されます。

3)　プログラム一覧にある「Antenna House PDF Driver V8.0」を選択し「アンインストール」をクリックします。

4)　指示にしたがってアンインストールを実行してください。

※　アンインストール終了後、システムの再起動が必要となる場合があります。

４.２.　実行に必要なファイル

コマンドラインのモジュールファイルは、「PDFDriverAPI」フォルダにあります。
任意の場所に配置してください。

ファイル名	内容
PdfDrvCmd80.exe	コマンドライン実行ファイル
PdfDrvAPI80AH.dll	PDF Driver API ライブラリファイル

※　上記の 2 ファイルはそれぞれ 32bit 用（「bin32」フォルダー）と 64bit 用（「bin64」フォルダー）があります。

４.３.　オプションの種類

オプション	内容
-d “入力ファイル名” ※必須	出力元の文書ファイル名をフルパスで指定します。 (例)　-d “c:¥test¥sample.docx”

-o “出力ファイル名” ※必須	出力先の PDF ファイル名をフルパスで指定します。 (例)　-o “c:¥sav¥out.pdf”
-p (“プリンター名”)	使用するプリンター名を指定します。対象となるプリンターは、モデル名が「Antenna House PDF Driver 8.0」であるものです。 ・プリンター名を指定した場合は、そのプリンターで印刷が行われます。 ・プリンター名が省略された場合、あるいは、「-p」自身の指定が省略された場合は、API 側でプリンターを選択して印刷を行います。 ・存在しないプリンター名が指定された場合、API 側で指定された名前のプリンターを作成します。この場合、印刷処理が終了したら作成されたプリンターは削除されます。
-i "設定ファイル名" -i "設定ファイルフルパス"	印刷設定ファイルを指定します。ファイル名のみでフォルダパスの指定がない場合は、あらかじめインストールされる場所、ユーザーのカスタム設定の場所の順に検索します。 ・インストール場所：{インストールフォルダ}¥Settings ・カスタム設定の場所：{システムドライブ}:¥Users¥{ログインユーザー名}¥AppData¥Roaming¥AntennaHouse¥PDF_Driver¥8.0¥CustomSettings
-a	1 ページごとに 1 つの PDF ファイルを出力します。Excel ファイルの場合は 1 シートごと（非表示シートを含まない）、PowerPoint ファイルの場合は 1 スライドごと（非表示スライドを含まない）に 1 つの PDF ファイルを出力します。 「-addin」（アドイン変換）との併用はできません。
-start “開始ページ番号”	PDF の出力を開始するページ番号を指定します。「-1」は先頭ページを指します。 Excel ファイルの場合はシート番号（非表示シートを含まない）、PowerPoint ファイルの場合はスライド番号を指定します。 「-end」の指定がない場合は、「-start」以降最終ページまで出力されます。 PowerPoint の非表示スライドについて、「-addin」（アドイン変換）指定時は出力に含まれます。「-addin」を指定しない場合は出力に含まれません。
-end “終了ページ番号”	PDF 出力を終了するページ番号を指定します。「-1」は最終ページを指します。Excel ファイルの場合はシート番号（非表示シートを含まない）、PowerPoint ファイルの場合はスライド番号を指定します。 PowerPoint の非表示スライドについて、「-addin」（アドイン変換）指定時は出力に含まれます。「-addin」を指定しない場合は出力に含まれません。
-addin	Office アドイン機能を利用して PDF を出力します（Word/Excel/PowerPoint のみ）。 アドイン用オプションは、出力時のアドイン設定ダイアログの設

	定値となります。コマンドラインからは設定変更できません。 「-a」との併用はできません。
-word.Item [0/7]　※1	Word ファイルの出力時、変更箇所を含むか否かを指定します。 　-word.Item 0 : 変更箇所を含めずに出力する（デフォルト） 　-word.Item 7 : 変更箇所を含めて出力する アドイン変換「-addin」と同時に指定された場合、この設定は無視され、変更箇所を含まずに出力されます。 Excel・PowerPoint・一太郎・テキストの各ファイルが指定された場合、この設定は無視されます。
-silent	指定がある場合、標準出力へのメッセージ表示が抑止されます。
-h -?	コマンドラインの使い方が表示されます。

※OEM ライセンスでは、Office アドインはオプション機能です。

※1　8.0.15.1 以降で利用できます。

４.４.　コマンドの使用例

処理内容	コマンド
Word ファイルを PDF 出力する	PdfDrvCmd80.exe -d c:¥test¥in.docx –o c:¥test¥out.pdf
Excel ファイルの２シート目から４シート目をPDF ファイルに変換する	PdfDrvCmd80.exe -d c:¥test¥in.xlsx -o c:¥test¥out.pdf -start 2 -end 4
PowerPoint ファイルを指定の印刷設定で変換する	PdfDrvCmd80.exe -d c:¥test¥in.ppt -o c:¥test¥out.pdf -i c:¥settings¥custom.ps4

４.５.　終了コード

<table>
<tr><td>型</td><td colspan="4">32bit 符号付き整数。ただし、マイナス値は返しません。
Windows API の GetExitCodeProcess()で取得できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="14">値</td><td colspan="4">０　　＝正常終了
０以外＝エラー　：　上位 WORD：エラーの大分類
下位 WORD：エラーの詳細</td></tr>
<tr><td colspan="2">上位</td><td colspan="2">下位</td></tr>
<tr><td rowspan="4">0x0001</td><td rowspan="4">コマンド自体の処理に起因するエラー</td><td>0x0001</td><td>引数がない</td></tr>
<tr><td>0x0002</td><td>入力ファイル(-d)が指定されていない</td></tr>
<tr><td>0x0003</td><td>出力ファイル(-o)が指定されていない</td></tr>
<tr><td>0x0010</td><td>ページ数(シート数/スライド数)の取得に失敗</td></tr>
<tr><td rowspan="6">0x0002</td><td rowspan="6">プリンター選択に関連するエラー</td><td>0x0001</td><td>パラメータが不正</td></tr>
<tr><td>0x0002</td><td>指定されたプリンターが存在しない</td></tr>
<tr><td>0x0003</td><td>メモリ不足</td></tr>
<tr><td>0x0004</td><td>指定されたプリンターが他のスレッドで使用中</td></tr>
<tr><td>0x0005</td><td>プリンター名として使用できない名前</td></tr>
<tr><td>0x0006</td><td>レジストリ[HKEY_CURRENT_USER¥Printers]にアクセスできない</td></tr>
<tr><td>0x0003</td><td>変換エラー</td><td>*********</td><td>「変換エラーコード一覧」のエラーコード</td></tr>
<tr><td>0x2102</td><td>プリンター選択に関連し Windows API に起因するエラー</td><td>*********</td><td>Windows API の GetLastError()の値</td></tr>
</table>

４.６.　変換エラーコード一覧

エラー値	概要	対処方法
0	処理に成功	
1	無効な操作	
2	指定したプリンターは存在しない	
3	メモリ不足。またはバッファ不足	
4	選択したプリンターは他のスレッドで使用中	・「-p」で同じプリンター名を指定するコマンドが複数動作している場合に発生する。この場合、他のコマンドが終了するのを待機する ・「-p」を指定しない、あるいは「-p」でプリンター名を指定しないコマンドが複数動作しているときに発生した場合、モデル名「Antenna House PDF Driver 8.0」のプリンターの複製を追加してください
5	プリンター名として使えない名前	他の名前を使う
6	レジストリにアクセスできなかった	PDF Driver に対しユーザーにアクセス許可を与える
7	コールバック関数で例外が発生した	
8	プリンタードライバーがインストールされていない	
9	名前を指定されたプリンターが無い	
10	プリンターの作成に失敗	ユーザーにプリンター作成の権限を付与する
11	プリンターの削除に失敗	「-p "存在しないプリンター名"」指定により作成されたプリンターが他のプログラムで使用されている可能性が高い。そのプログラムを終了する
12	API の Memory Mapped File(MMF)にアクセスできない	splwow64.exe を強制終了するし、spool サービスを再起動する
13	Win32API の CreateMutex に関連するエラー	
14	プリンターを開けない	ユーザーに PRINTER_ACCESS_USE の権限を与える
15	プリンターの情報/設定の読み書きができない	PDF Driver に対しユーザーにアクセス許可を与える
16	Win32 の EnumPrinter に関連するエラー。プリンターを列挙できない。	PDF Driver に対しユーザーにアクセス許可を与える
17	設定ファイルが読めない	
18	指定された名前のファイルは無い	フルパスを渡す

19	指定されたファイルが開けない	・他のプログラムで該当のファイルを開いていないか確認する ・読み取り権限を付与
20	COM のエラー	
21	非対応のファイル	ファイルの形式と拡張子を確認する
50	設定で PDF/X 指定だが文書タイトルがない	文書情報の「タイトル」に有効な文字列を指定する
51	設定で PDF/X 指定で仕上がりサイズと裁ち落としサイズの関係が不正	仕上がりサイズを裁ち落としサイズに収まるよう設定値を変更する
100	設定ファイルが無い	・設定ファイルが存在するかどうかを確認 ・フルパスを渡す
101	設定ファイルが正しい形式でない	
102	設定ファイルが書き込みできない	・ファイル名を確認の上、フルパスで渡す ・フォルダへの書き込み権限の確認
103	設定ファイルをプリンタードライバーに送れない	splwow64.exe を強制終了するし、spool サービスを再起動する
109	その他設定ファイルに関するエラー	API で指定している設定ファイル名が正しい名称かどうかを確認する
150	入力ファイルを読めない	・ファイルが存在するか確認する ・フルパスを渡す ・フォルダのアクセス権限を確認
151	入力ファイルにパスワードが設定されている	
152	非対応のファイル形式	・通常変換(convertFile)においては、Word/Excel/PowerPoint/テキスト/一太郎以外のファイルを変換しようとしていないかどうか確認する ・アドイン変換(convertFileAddin)では、Word/Excel/PowerPoint/テキスト以外のファイルを変換しようとしていないかどうか確認する
153	変換に失敗した。詳細な理由は不明	
154	出力ファイルに書き込めない	・フォルダにファイルの作成、読み書きの権限を付与する ・書き込み先の同名ファイルを削除または移動する ・出力先に指定したフォルダパスの存在を確認
155	COM の操作に失敗	
156	ページ数の取得に失敗した	
157	入力ファイルにデータが無い	
158	プリンターの変更ができない	

159	タイムアウトした。	
160	パラメータ不正	入力ファイル名の長さを MAX_PATH 以内にする
161	アドインのロードに失敗した	
162	PDF Driver のバージョンが期待したバージョンと異なる	
163	Microsoft Office の COM の登録が見つからない	
164	ICC ファイルが存在しない	指定した ICC ファイルが存在するか確認する
165	動的にロードされる DLL がない	・インストールフォルダに DLL が存在するか確認 ・VC ランタイムがシステムに入っているか確認
166	出力フォルダがない	・出力先フォルダにアクセス権を付与 ・ネットワークパスの場合はアクセス可能か確認
181	ライセンスの期限切れ	ライセンスの更新（＝保守契約の更新）
182	ライセンスファイルが見つからない	l{インストールフォルダ}¥ic フォルダに PDF Driver API 用ライセンスファイルを配置する
183	PDFDriver が使用できない	・「-p」で指定したプリンターが他で動作しているコマンドで使用されている場合はその終了を待機する ・モデル名「Antenna House PDF Driver 8.0」のプリンターの複製を追加する
184	機能はまだ実装されていない	
185	印刷可能なアプリがない	Word,Excel,PowerPoint,一太郎をインストールする
186	ユーザーによってキャンセルされた	
190	その他のエラー	
200	Excel 処理中のエラー	
201	Excel の CreateInstance のエラー	Excel の(再)インストール
202	Excel でファイルを開くときのエラー	
204	Excel で印刷時のエラー	
205	Excel でプリンター選択できなかった	
206	Excel で印刷設定のエラー	
208	Excel でシート数を取得できなかった	
210	Excel で印刷オプションの設定に失敗した	
212	Excel でワークブック選択に失敗した	

213	Excel で印刷以外の COM の操作に失敗	
300	Word 処理中のエラー	
301	Word の CreateInstance のエラー	Word の(再)インストール
302	Word でファイルを開くときのエラー	
304	Word で印刷時のエラー	
305	Word でプリンター選択できなかった	
306	Word で印刷設定のエラー	
307	Word でバックグラウンド印刷設定できなかった	
308	Word でページ数を取得できなかった	
309	Word で範囲外のページを指定した	開始ページ番号やセクションの設定を確認する
310	Word で印刷オプションの設定に失敗した	
312	Word でドキュメント選択に失敗した	
313	Word で印刷以外の COM の操作に失敗	
316	Word でファイル保存時のエラー(一時ファイル等)	
318	Word で座標取得のエラー	
319	Word で用紙の向きの取得/設定に失敗	
320	Word で移動に失敗	
400	PowerPoint 処理中のエラー	
401	PowerPoint の CreateInstance のエラー	PowerPoint の(再)インストール
402	PowerPoint でファイルを開くときのエラー	
404	PowerPoint で印刷時のエラー	
405	PowerPoint でプリンター選択できなかった	
406	PowerPoint で印刷設定のエラー	
408	PowerPoint でスライド数を取得できなかった	
409	PowerPoint で範囲外のスライドを指定した	開始スライド番号、非表示スライドを確認する
410	PowerPoint で印刷オプションの設定に失敗した	
412	PowerPoint でプレゼンテーション選択に失敗した	
413	PowerPoint で印刷以外の COM の操作に失敗	
419	PowerPoint で用紙の向きの取得/設定に失敗	

420	PowerPoint で移動に失敗	
421	PowerPoint で最終版情報を取得/解除に失敗	
500	一太郎処理中のエラー	
501	一太郎の CreateInstance のエラー	一太郎の(再)インストール
502	一太郎でファイルを開くときのエラー	「一太郎」が起動している場合は終了後、PDF Driver API のプログラムを実行してください
504	一太郎で印刷時のエラー	
505	一太郎でプリンター選択できなかった	
508	一太郎でページ数を取得できなかった	
509	一太郎で範囲外のページを指定した	
512	一太郎でドキュメント選択に失敗した	
513	一太郎で印刷以外の COM の操作に失敗	
514	一太郎でマクロの実行に失敗	

４.６.１.　パスワード付きファイルに対するエラーコードについて

Word、Excel、PowerPoint の読み取りパスワード、書き込みパスワードが付いたファイルに対する動作は、通常変換とアドイン変換関数（-addin オプション）では以下のように異なっています。

拡張子	パスワード種類	通常変換	アドイン変換
doc	読み取り	エラーコード「151」	エラーコード「151」
doc	書き込み	変換可	変換可
docx	読み取り	エラーコード「151」	エラーコード「151」
docx	書き込み	変換可	変換可
xls	読み取り	エラーコード「202」*	エラーコード「202」*
xls	書き込み	変換可	エラーコード「202」*
xlsx	読み取り	エラーコード「151」	エラーコード「151」
xlsx	書き込み	変換可	エラーコード「202」*
ppt	読み取り	エラーコード「402」*	エラーコード「402」*
ppt	書き込み	エラーコード「402」*	エラーコード「402」*
pptx	読み取り	エラーコード「151」	エラーコード「151」
pptx	書き込み	エラーコード「402」*	エラーコード「402」*

※１　OEM ライセンスでは、Office アドインはオプション機能です。
※２　表内の「*」が付いているエラーコードは、改訂 19(8.0.19.0)以降におけるエラーコードです。
　　改訂 18 以前は「153」または「20」です。

５．ライセンスファイルについて

５．１．　ライセンスファイル名

ファイル名：pdalic.dat

ライセンスファイルは、任意の名称に変更可能です。
ファイル名が変更されても、PDF Driver API の動作に影響はありません。

５．２．　ライセンスファイルの場所

PDF Driver V8.0 のインストールフォルダ¥lic

５．３．　正規利用方法

ライセンスファイルは、PDF Driver のインストーラによりインストールされます。
インストールされるライセンスファイルは、インストール後 30 日間有効な評価用ライセンスです。
製品ご購入後、弊社からライセンスファイルを送付します。このライセンスファイルに入れ替えることにより、正規利用できるようになります。

５．４．　保守期限と PDF Driver API の動作について

ライセンスファイルには、保守契約期間情報があります。
保守契約が有効である間にリリースされた改訂版については、アップデートしてご利用いただけます。
保守期間終了後も、それまでと同様にご利用いただけます。
ただし、保守契約終了後にリリースされた改訂版については、アップデートしてご使用になると PDF Driver API は評価版として動作します。このため、出力される PDF のページには評価用透かし文字列が挿入されます。
最新の改訂版を正規利用するには、保守契約の更新をご検討ください。

５．５．　ライセンスファイルの入れ替えについて

評価版から正規版に移行する場合や保守契約を更新した場合、弊社から新しい正規のライセンスファイルを送付します。
新しいライセンスファイルに入れ替え、ご利用ください。
ライセンスファイルの入れ替えは、PDF Driver API および PDF Driver を利用するプログラムが実行されていないときに行ってください。
ファイル入れ替え後にコンピュータの再起動は必要ありません。

５．６．　ライセンスファイルの削除

PDF Driver のアンインストーラでは、PDF Driver API 用のライセンスファイルは削除しません。

６．制限事項

６．１．　PDF Driver API のサーバーサイド使用における制限事項

1.　Microsoft は、Microsoft Office（以下 Office）のオートメーションをサーバーサイドで使用することについての技術サポートを行っていません。また、ライセンスを持たないワークステーションに対しサーバーサイドで Office サービスを提供することも許可していません。

参考情報：Office サーバーサイドオートメーションについて

PDF Driver API は Office のオートメーションを利用した API です。したがって、PDF Driver API を使用し Word／Excel／PowerPoint 各ファイルの PDF 出力を行うプログラムをサーバーサイドで運用する場合には、Office のライセンス規約にしたがわなければなりません。このような場合、弊社の PDF Driver API のライセンスとは別に、お客様が構築されようとしているサーバー（サービス）を利用するすべてのユーザー（クライアント）が Office のライセンスを持つ必要があります。このような使用方法をお考えの場合には、Office のライセンスについてもご注意ください。Office のライセンスについては Microsoft にお問い合わせください。なお、Office のライセンス違反等の問題が発生いたしましても当社は一切関知いたしません。

2.　PDF Driver API を利用したプログラムの実行ファイルと、PDF Driver API が印刷を行うアプリケーション（Microsoft Office、ジャストシステム　一太郎）は同じセッションで動作させる必要があります。

６.２.　PDF Driver API のそのほかの制限事項

1. PDF Driver API を利用して Microsoft Word / Excel / PowerPoint、ジャストシステム　一太郎の各ファイルの PDF 出力処理を行う場合、これらのアプリケーションの COM(Component Object Model)を使用します。アプリケーションが更新されたりバージョンアップされたとき、出力 PDF の内容が更新／バージョンアップ前の結果と異なる、あるいは元文書のレイアウトやデザインと異なる、PDF 変換できない、Office アドイン変換のオプションが効かない、印刷速度が遅くなるなど印刷品質への影響や、COM の動作が変わり PDF Driver API の動作への影響が出る場合があります。
2. Microsoft 365 や、お店やオンラインショップなど小売りで購入できるライセンス版（retail 版）の場合、頻繁に更新が行われます。Microsoft 365 では、機能の追加が行われる場合もあります。PDF Driver、PDF Driver API への影響が確認されたとき、それらにすぐに対応できない場合があります。
3. PDF Driver API は印刷アプリケーション（Word / Excel / PowerPoint / 一太郎）の動作に依存します。このため、停止しないで動作することは保証していません。停止が問題になるようなサービス等では、上位システムでエラーや停止時の対処また負荷分散などの機能を組み込まれる事を推奨いたします。
4. PDF Driver API の動作環境は、印刷アプリケーション（Word / Excel / PowerPoint / 一太郎）の動作環境に準じます。ご利用になる印刷アプリケーションの動作環境をご確認ください。
5. PDF Driver API V8.0 は、PDF Driver V7.5 以前の PDF Driver を制御することはできません。
6. PDF Driver V8.0 は、PDF Driver API V7.5 以前の API では制御できません。
7. PDF Driver API を利用して印刷を行うプログラムが動作している環境では、PDF Driver API 以外から PDF Driver が使用されないようにしてください。
8. PDF Driver API を利用して印刷を行うプログラムが、ひとつのユーザー環境で複数同時に動作する場合は、あらかじめ、モデル名が「Antenna House PDF Driver 8.0」であるプリンターを複数個用意してください。製品付属の「プリンターの追加と削除ツール」でプリンターの複製を作成することができます。
9. PDF Driver API を利用した複数スレッド構成のプログラムにおいて各スレッドで印刷を行う場合、あらかじめ、モデル名が「Antenna House PDF Driver 8.0」であるプリンターを複数個用意してください。製品付属の「プリンターの追加と削除ツール」でプリンターの複製を作成することができます。
10. PDF Driver API を使用したプログラムを設計するさい、１つのスレッドから同時に２つの印刷処理が行われないよう制御する必要があります。１つのスレッド内で２つ以上同時に印刷を行うと、プリンタードライバーは正常に動作しません。
11. Microsoft Office アドインを使用した PDF 出力は Microsoft Office Word/Excel/PowerPoint 文書のみが対象となります。
12. PDF 出力中に元アプリケーションがエラーとなった場合、PDF の生成は中止されます。
13. PDF Driver API を使用したプログラムにおいて、セクションが複数存在する Word ファイルの PDF 出力では、印刷ページ範囲指定や 1 ページ単位での PDF 出力が正常に動作しない場合があります。
14. Excel ファイルにおいて、「ページ設定」の「解像度」がシートごとに異なる場合は、PDF Driver API が全シートのなかでもっとも大きな解像度の値に再設定して変換処理を行います。このため、シートの内容によっては、ページレイアウトがオリジナルと異なる場合があります。
15. Excel ファイルにおいて「ページ設定」の「解像度」が PDF Driver で扱うことができない値の場合、PDF Driver API は印刷エラーを回避するために PDF Driver が持つ解像度のいちばん近い

値に設定します。このためシートの内容によっては、ページレイアウトがオリジナルと異なる場合があります。

16. Excel ファイルにおいて、Open や Close などのイベントに対してマクロが設定されているとき、マクロでメッセージが表示されたり、エラーによって Excel アプリケーションからメッセージが表示されるような場合、PDF Driver API の変換処理は中断されます。
17. PDF Driver API の処理において、一太郎ファイルが複数シートを持つ場合は、カレントシート（＝開いたときに最前面にあるシート）のみを PDF に出力します。
18. PDF Driver API の処理において、一太郎ファイルのカレントシートが Excel 形式の場合、Excel ファイルが複数シートを持ちシートの解像度が異なるなどして印刷ジョブが分かれるケースでは、出力される PDF が複数に分かれます。
    出力される PDF ファイル名の例：
    test.pdf
    test.pdf.pdf
    test.pdf.pdf.pdf
19. PDF Driver API の処理において、一太郎ファイルのカレントシートが PowerPoint 形式の場合、印刷時に PowerPoint 画面が前面に表示されます。
20. PDF Driver API の処理において、一太郎ファイルのカレントシートが Word 形式の場合、1 ページ目が出力されない場合があります。
21. PDF Driver API の処理において、一太郎ファイルのカレントシートが Word 形式の場合、2 ページ目以降の数ページだけ出力される場合があります。
22. PDF Driver API の処理において、動作環境のアプリケーションが「一太郎」のバージョンによっては、印刷時に一太郎の画面が前面に表示されます。
23. PowerPoint には「用紙に合わせて拡大／縮小」というオプションがあります。PDF Driver API ではこの設定値を制御していません。PowerPoint ファイルが持つ設定に従った動作となります。
24. PDF Driver API のアドイン変換関数を使用する場合、１ページ（１シート／１スライド）ごと PDF 出力を行うオプションは使用できません。
25. テキスト形式ファイルを PDF 変換する場合、文字コードは Word が判別しています。使用されている文字コードやテキスト内容によっては出力結果が文字化けする場合があります。
26. PDF Driver API の処理において、Excel ファイルの非表示シートは PDF 出力されません。
27. PDF Driver API の通常出力処理において、PowerPoint ファイルの非表示スライドは出力されません。アドイン変換処理の場合、非表示スライドは PDF 出力対象となります。
28. Word,Excel,PowerPoint,一太郎形式以外のファイルについて、テキスト形式と判定され変換が行われる場合があります。

※OEM ライセンスでは、Office アドインはオプション機能です。

６.３.　PDF Driver の制限事項

1. PDF Driver の出力結果は、オペレーティングシステム（OS）の種類やバージョンや更新、印刷を行うアプリケーションの更新やバージョンアップにより､出力 PDF の内容が更新／バージョンアップ前の結果と異なる、あるいは元文書のレイアウトやデザインと異なる、PDF 変換できない、Office アドイン変換のオプションが効かない、印刷速度が遅くなるなど印刷品質に影響が出る場合があります。
2. Adobe Acrobat などの PDF ビューアから PDF Driver を指定し印刷する動作､および印刷結果である PDF ファイルについては保証されません。
3. PDF Driver は印刷アプリケーションの動作に依存します。このため、停止しないで動作することは保証していません。停止が問題になるようなサービス等では、上位システムでエラーや停止時の対処また負荷分散などの機能を組み込まれる事を推奨いたします。
4. 印刷処理速度や消費メモリ、出力結果の PDF などについて、特定の性能や品質を保証するものではありません。Adobe Acrobat や Adobe Acrobat の「Adobe PDF」を含む他社製品の PDF 生成ソフトウェアと同等の品質や性能を保証するものではありません。
5. PDF Driver はネットワークプリンターとしてご利用いただくことはできません。
6. １つのスレッドから同時に２つ以上の印刷を行うようなしくみのアプリケーションにおいて 2 つ以上のファイルを同時に PDF Driver に対して印刷すると PDF Driver は正しく動作しません。
7. 保存ダイアログで「キャンセル」を行った場合、PDF Driver は印刷処理を続行します。最後に PDF ファイルを出力しないことで「キャンセル」とする動作仕様となっています。このため、印刷内容によりキャンセルされるまでに時間がかかる場合があります。
8. PDF Driver V8.0 で印刷中にエラーが発生し印刷が中止された場合、PDF Driver V8.0 用の一時フォルダ「C:¥Users¥ ログインユーザー名¥AppData¥Local¥Temp¥AHPD80_temp」に拡張子「.tmp」のファイルが残る場合があります。
9. Windows のプリンター一覧に表示されるプリンター名を変更しないでください。一部の機能が正常に動作しなくなるおそれがあります。
10. PDF Driver を使用した場合に作成可能な PDF バージョンは、PDF1.3～PDF1.7 と PDF2.0 です。
11. 縦書きや文字が回転されている場合、フォントを埋め込む設定で印刷を行ってください。PDF にフォントが埋め込まれていないとき、文字が元文書とは異なる方向に回転したり、表示位置がずれる場合があります。
12. 縦書き文字の出力対応は、MS ゴシックと Arial Unicode MS を基準としています。
13. 対応フォントは、True Type、Open Type、Type1 フォントです。Windows で使用可能なフォント以外については動作保証されません。また、フォントの仕様に沿っていないフォントについては動作保証されません。
14. Open Type Font では、フォントによって縦書き記号が回転する場合があります。
15. Open Type Font をフォント作成ツール「FontForge」で True Type Font に変換したフォントは正しく変換されません。
16. 透過画像や図形が含まれているとき､出力された PDF では黒く塗りつぶされた表示になる場合があります。
17. 透過画像や図形が含まれているとき、PDF/A や PDF/X 設定時に PDF が出力されない、あるいは、ファイルサイズが 0KB である PDF ファイルが残る場合があります。
18. 画像や図形のグラデーションやパターンが元文書の通りに変換されない場合があります。
19. Excel ファイルにおいて､「ページ設定」の印刷品質（解像度）設定値の変更を行った場合、出

力される PDF ファイルの結果が印刷プレビューと異なり、行やページが増減する場合があります。PDF Driver で出力する場合、あらかじめ、PDF Driver を選択した状態でシートのレイアウトを行ってください。

20. プリンターが出力するときのピクセル数は、「用紙サイズ（インチ換算）×解像度」で決まります。この値が非常に大きくなる設定のときに、印刷が行われず PDF ファイルが出力されない場合があります。そのような場合は、用紙サイズを小さくするか、あるいは、解像度を低い値に設定してください。設定値の目安は、「用紙サイズ（縦）×解像度」あるいは「用紙サイズ（横）×解像度」が 16bit の上限である「65535」より小さくなる値です。（参考：3600 dpi なら約 460mm、600 dpi なら約 2750mm が上限値となります）
21. PDF Driver は、Modern UI に対応していません。Modern UI を持つソフトウェアから印刷を行った場合、ユーザーインターフェースが期待される動作をせず、ファイル保存ダイアログはデスクトップ上に表示されます。
22. PDF Driver は、Windows のサービス（Windows サービス、Internet Information Service など）での利用において、外字出力には対応していません。
23. 透かしの配置を最背面に設定した場合、印刷を行うアプリケーションによっては、透かしが他のデータの背面に配置され見えない状態になることがあります。
24. 透かし文字列のフォントとして「Roman」など fon 形式フォントを選択した場合、PDF 出力に失敗し、PDF が出力されない、もしくは 0 バイトの PDF ファイルが残ります。
25. PDF Driver は印刷ジョブ名を PDF ファイル名としています。Windows においてファイル名に使用できない 9 種類の記号 ￥/ : * ？ “ < > | が印刷ジョブ名に含まれている場合、PDF Driver はこれらの記号を「_」（0x5F）に置換し PDF ファイル名とします。
26. PDF Driver は印刷ジョブ名を PDF ファイル名としています。印刷ジョブ名に制御コード（0x01～0x1F）が含まれる場合、これを半角スペースに置換し PDF ファイル名とします。
27. グレースケールあるいはモノクロ変換設定でかつ PDF ファイルを透かしとして指定している場合、透かし部分はグレースケールおよびモノクロ変換は行われません。
28. Web フォントを使用した Web ページの PDF 出力には対応していません。
29. Windows のバリアブルフォントには対応していません。
30. 設定オプション「文中の URL にリンクをつける」について、URL 文字列内に改行が存在したり、印刷を行うアプリケーションの仕様により印刷データとして URL アドレスの終端までをひとまとまりの文字列として扱われていない場合に、正しくリンク設定が行われません。
31. PDF ファイルを「透かし」とする場合、PDF バージョンは「PDF のバージョン」で指定する PDF バージョンと同一、もしくはそれ以下の PDF バージョンのファイルを指定してください。
32. 「PDF のバージョン」に「PDF2.0」を指定したとき、「透かし」として PDF を指定する場合は PDF2.0 のファイルを使用してください。
33. 「PDF のバージョン」に「PDF/A-2b」を指定しカラープロファイルが「CMYK」、かつ「圧縮」タブで「JPEG2000」を指定している場合、JPEG2000 ではなく JPEG 圧縮が行われます。カラープロファイルが「RGB」の場合は JPEG2000 圧縮が行われます。
34. Word と Excel において、ファイルの用紙サイズ設定が「Letter」であるときに「A4」のページサイズで PDF 出力される場合があります。Word／Excel のオプション「詳細設定」において、「A4 または 8.5 x 11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」という設定が有効であるとき A4 サイズとなります。Letter サイズで PDF 出力する場合はこの設定を無効にしてください。
35. PowerPoint ファイルのスライドの印刷の向きが「横」の場合、印刷設定の「用紙設定」で「サイズ指定」したとき、PDF ではページサイズの幅と高さが入れ替わった大きさになります。
36. ２つの画像を SRCAND のラスタオペレーションで印刷する処理に対し、PDF Driver では

「Blend Mode」という描画方法で PDF に変換しています。「Blend Mode」は「PDF1.4」以降の仕様であるため、「PDF バージョン」が「PDF1.3」設定では、一方の上に他方がのった状態で出力されます。また、透過が禁止されている「PDF/A-1b」「PDF/X-1a」「PDF/X-3」設定の場合も、一方の上に他方がのった状態で出力されます。

６.４.　Office アドイン機能の制限事項

※OEM ライセンスでは、Office アドインはオプション機能です。

1. PDF Driver の出力結果は、オペレーティングシステム（OS）の種類やバージョンや更新、印刷を行うアプリケーションの更新やバージョンアップにより、出力 PDF の内容が更新／バージョンアップ前の結果と異なる、あるいは元文書のレイアウトやデザインと異なる、PDF 変換できない、Office アドイン変換のオプションが効かない、印刷速度が遅くなるなど印刷品質に影響が出る場合があります。
2. Microsoft 365 や、お店やオンラインショップなど小売りで購入できるライセンス版（retail 版）の場合、頻繁に更新が行われます。Microsoft 365 では、機能の追加が行われる場合もあります。Office アドイン機能への影響が確認されたとき、それらにすぐに対応できない場合があります。
3. Word 文書において「変更履歴の記録」が付与されている場合、見出しの PDF しおりへの変換やハイパーリンクの変換などが正しく処理されない場合があります。その場合、Word 文書において変更履歴を「承諾」する処理を行い保存した、変更履歴を持たないファイルにした後、アドイン変換を行ってください。

4. PDF のリンクとして出力されるハイパーリングは以下の種類です。
   ・文書内の別ページへ移動するリンク
   ・URL へのリンク
   ・電子メールアドレス

5. 文書内を移動するリンク、URL リンク以外のハイパーリンクについては、リンク情報が正しく出力されない場合があります。

6. 以下のようなハイパーリンクを含む文書を PDF 出力すると、ハイパーリンクの指定範囲（＝リンク枠の位置）が不正になることがあります。
   ・改行を含む文字列にハイパーリンクの指定がある場合
   ・縦書き文書内でハイパーリンクを指定した場合
   ・ハイパーリンクを付加した Word アートや図形に「折り返しの種類と配置」機能等を加えた場合
   ・HTML のブラウザでの表示結果を Word に貼付した場合
   ・Word 文書内の画像やオートシェイプに設定されたハイパーリンク

7. Excel ファイルのシートにおいて印刷範囲が設定されている場合は、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。

8. Excel ファイルのシートにおいてヘッダに印刷タイトルとして「行」「列」タイトルが指定されている場合、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。

9. Excel ファイルにおいて保護シートが存在する場合は、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。

10. Excel ファイルにダイアログシートが含まれている場合、ダイアログシートより後ろのシートに対しては、しおりやリンクの出力、コメントの注釈の作成はできません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。

11. 印刷設定の PDF バージョンが PDF/A あるいは PDF/X のとき、「コメントをノート注釈に変換する」設定でアドイン変換を実行した場合は、印刷途中で失敗するため PDF ファイルが出力されません。

12. 印刷設定の PDF バージョンが PDF/A のとき、「元の Word/Excel/PowerPoint ファイルを添付する」設定でアドイン変換を実行した場合は、印刷途中で失敗するため PDF ファイルが出力されません。

13. 印刷設定の PDF バージョンが PDF/X のとき、「元の Word/Excel/PowerPoint ファイルを添付する」、「リンクを出力する」、「相互参照と目次をリンクに変換する」、「脚注をリンクに変換する」設定でアドイン変換を実行した場合は、出力される PDF ファイルは PDF/X の仕様の範囲外となります。

14. PowerPoint アドイン変換において、表の中の文字列に設定されたハイパーリンクを PDF のリンク注釈として正しく出力できません。

15. Word 文書上に隠し文字が存在する場合、しおりやリンクは作成されません。

16. Word 文書において、図形内の見出しはしおりに変換されません。

17. Excel の HYPERLINK 関数によるリンクは PDF のリンクに変換されません。

履歴

日付	内容
2022.10.6	・初版
2023.3.28	・「4.6.変換エラーコード一覧」を修正しました。 ・「6.3.PDF Driver の制限事項」に「(32)」項を追記しました。
2023.4.28	・OEM ライセンスについての注記を追記しました。OEM ライセンスでは、Office アドインはオプション機能です。
2023.11.15	・「2.動作環境」の表の欄外の注意事項に「※1」を追加しました。 ・4.6.変換エラーコード一覧」を修正ました。 ・「6.2.PDF Driver API のそのほかの制限事項」を修正しました。 ・「6.3.PDF Driver の制限事項」を修正しました。
2024.3.13	・「2.動作環境」を修正しました。
2024.3.27	・「4.3.オプションの種類」に「-word.Item」を追加しました。8.0.15.1 以降のコマンドラインで利用できます。 ・「6.4.Office アドイン機能の制限事項」を追加しました。
2024.5.9	・「4.6.変換エラーコード一覧」の「153」について「参考」欄に追記しました。
2024.6.10	・「2.動作環境」の「アプリケーション」欄に「Microsoft 365 Word / Excel / PowerPoint 日本語版」を追加しました。 ・「6.2.PDF Driver API のそのほかの制限事項」において(1)の説明文を修正し、また(2)項を追加しました。 ・「6.3.PDF Driver の制限事項」の(1)の説明文を修正しました。 ・「6.4.Office アドイン機能の制限事項」に(1)、(2)項を追加しました
2024.10.9	・「6.2.PDF Driver API のそのほかの制限事項」において「23」の説明文を修正しました。 ・「6.2.PDF Driver API のそのほかの制限事項」において「28」を追加しました。 ・「6.3.PDF Driver の制限事項」の「36」を追加しました。
2024.10.16	・「4.3.オプションの種類」:「-p (“プリンター名”)」の説明を修正しました。 ・「4.6.変換エラーコード一覧」を修正しました。 ・「4.6.1.パスワード付きファイルに対しるエラーコードについて」を追加しました。
2025.1.20	・「2.動作環境」:「Server 2025」を追加しました。
2025.2.4	・「2.動作環境」の「アプリケーション」欄に「Microsoft Office 2024 Word / Excel / PowerPoint 日本語版」を追加しました。
2025.5.1	・「6.2.PDF Driver API のそのほかの制限事項」:「2.」の説明を修正しました。 ・「6.4.Office アドイン機能の制限事項」:「2.」の説明を修正しました。

Antenna House PDF Driver API V8.0
コマンドライン説明書　2025.5.1
© Antenna House Inc. 2022-2025 All Rights Reserved.